

〈保証内容のご確認とお願い〉

- この保証書は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。
お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

- 保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。
24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされる場所(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

- 電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お試し用の電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

- 1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。

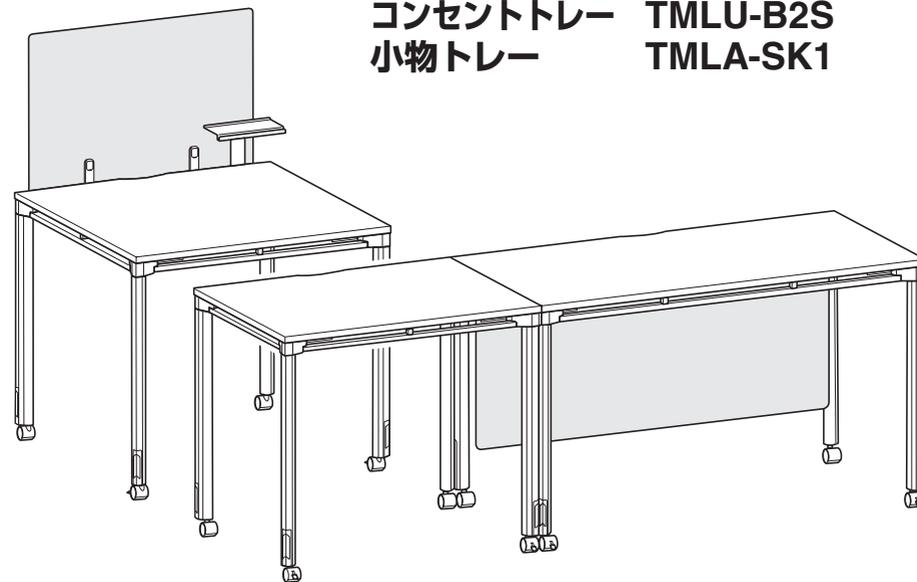
また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。
- 3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承ください。
(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換
(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損
(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくはは重大な過失による故障または破損
(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損
(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損
(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損
(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損
(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または損傷
(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色
(コ)使用時の手垢埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
(ク)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさび・かびの発生
(ケ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
(コ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)
(ツ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損
- 5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

MULTIS マルティス

マルチテーブル TML-KK0806C□
TML-KS0808C□
TML-KK1206C□

専用オプション
パネル TMLV-K□□□P
コンセントトレイ TMLU-B2S
小物トレイ TMLA-SK1



もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 未永くご使用いただくためのご注意	3
3. 使いかた	4
4. お手入れのしかた	15
5. 部品の交換について	16
6. 仕様	16
7. 組み立てかた	18

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。



1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。



警告

- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

・ この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。

・ この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿（温度28℃、相対湿度50%超が目安）になる場合は、窓を開け切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。

けがや破損の原因になります。

- ストープなど火気を近づけて使用しないでください。

やけどや火災の原因になります。

- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。

転倒によるけがの原因になります。

- 設置するときは、キャスターのストッパーを、必ずロック位置にしてください。

本体が急に動き出して、転倒したり、けがをするおそれがあります。

- 運搬車代わりに使用しないでください。

転倒によるけがや、製品の破損の原因になります。

- 運動具や乗物代わりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。（特にお子様にご注意ください。）

転倒や破損によるけがの原因になります。

- 可動部のすき間に手や指を入れないでください。

けがの原因になります。

- 専用のオプションパーツ以外は取り付けしないでください。

落下によるけがや破損の原因になります。

- 使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）

けがの原因になります。

①

- のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。

ものが落下して、けがをするおそれがあります。

- 天板の上に立ち上がったたり、腰を掛けたりしないでください。

転倒や転落によるけがの原因になります。

- 天板の端に体重をかけたり、重いものをのせないでください。

転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。

- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。

転倒によるけがの原因になります。

- 移動させるときは、④ページ②の要領で、注意して行ってください。

テーブルの転倒事故を起こすおそれがあります。

- 連結マグネット部には、パソコンなどの電子機器・電子医療機器・時計・磁気テープなど、磁気の影響を受けるものには近づけないでください。

不具合が発生する原因になります。

- 移動するときは、オプションやのせているものを、すべて取り除いてから行ってください。

のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。

- 移動させるときは、キャスターのストッパーを必ずフリー状態にしてから動かしてください。

ロック状態のまま動かすと、本体が倒れてけがをしたり、床を傷つけるおそれがあります。また、キャスターが破損するおそれがあります。

- 移動させるときは、床の段差や溝に注意して行ってください。

本体が倒れて、けがをするおそれがあります。

- キャスターのストッパーを操作するときは、手で行ってください。

手以外で行うと、けがや破損のおそれがあります。

- キャスターのレバーを操作するときは、乱暴に行わないでください。

キャスターの割れによる転倒の原因になります。

- 配線している製品を移動させるときは、すべての配線を外し、コード類を傷つけないように注意して行ってください。

コードの断線によるショートや感電のおそれがあります。

- パネル（オプション）にぶら下がったり、ものを立て掛けたり、ものを引っ掛けたりしないでください。（特にお子様にご注意ください。）

製品の落下によるけがの原因になります。

- パネル（オプション）を蹴ったり、衝撃を与えたりしないでください。

破損によるけがの原因になります。

- 可動部に注油しないでください。

油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

- 製品の分解や改造はしないでください。

けがや破損の原因になります。

- ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。
- 製品の変形・破損や転倒によるけがの原因になります。早めに締め直してください。

②

1.安全上のご注意

- 溶接外れや部品の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。
- 製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。

- この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

2.末永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、変色・変形・そり・目割れ・故障などの原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱、冷暖房器の強風が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色や変形・そり・目割れなどの原因になります。
- 飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなどを直接置かないでください。白く変色するおそれがあります。茶たくなべ敷きを敷いて使用してください。
- 連結マグネット部に異物を入れないでください。正しく動作しなくなる原因になります。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

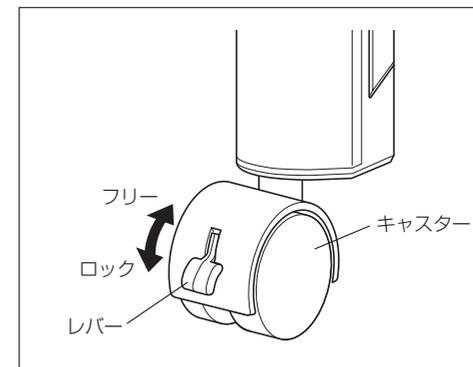
3.使いかた

① キャスター操作のしかた

キャスターのレバーを押し下げるとロックされ、引き上げるとフリーになります。

△注意

キャスターのストッパーを操作するときは、手で行ってください。手以外で行うと、けがや破損のおそれがあります。



② 移動のしかた

キャスターをフリー状態にし、天板に両手を添えて、テーブルを持ち上げずに移動してください。

△注意

- キャスターがロック状態のまま動かさないでください。本体が倒れてけがをしたり、床を傷つける原因になります。
- 移動させるときは、床の段差や溝に注意して行ってください。
- テーブルを移動させるときは、すべての配線を取り除き、コード類を傷つけないように注意してください。コードの断線によるショートや感電のおそれがあります。
- 連結マグネットは離してから移動させてください。



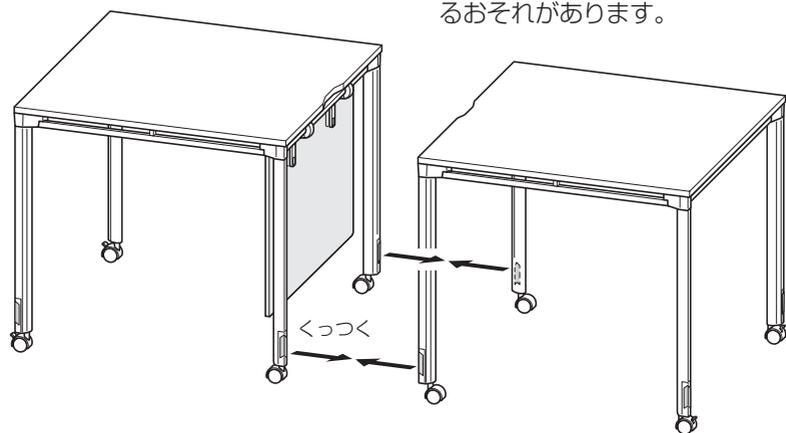
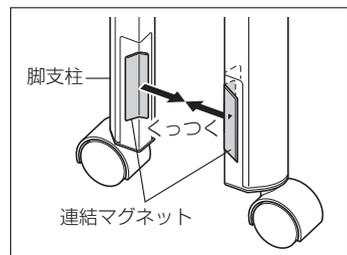
3. 使いかた

③ テーブルの連結のしかたと外しかた

〈連結のしかた〉

天板の角を合わせてください。

脚の下部の連結マグネットどうしが、自動的にくっつきます。

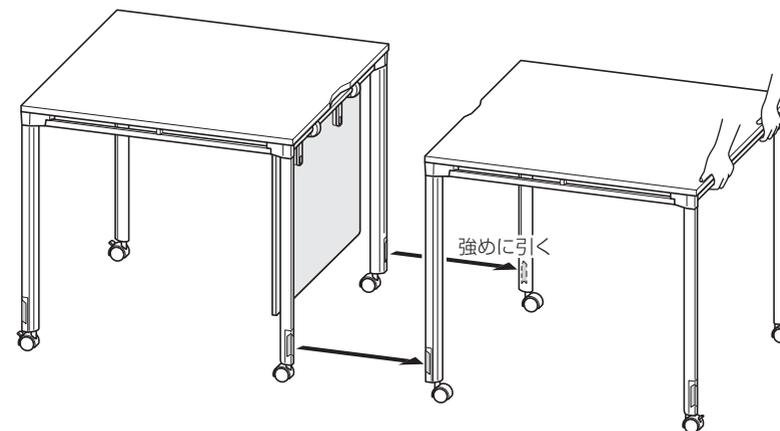


⚠注意

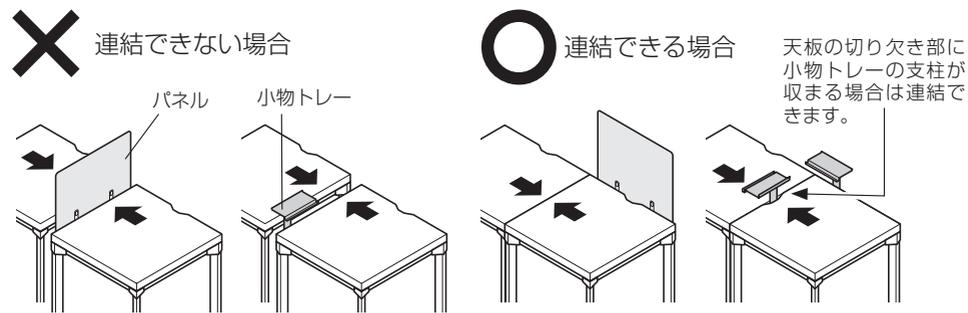
- 連結するテーブルどうしの天板や脚の間に指や足を入れないでください。けがをする原因になります。
- 連結マグネット部には、パソコンなどの電子機器・電子医療機器・時計・磁気テープなど、磁気の影響を受けるものには近づけないでください。不具合が発生する原因になります。
- 移動するときは、単体で行ってください。くっつけたまま行くと、破損してけがをするおそれがあります。

〈外しかた〉

天板を持って、水平方向にまっすぐ強めに引いてください。



図のように、パネルを上向きにした場合と、小物トレーが取り付けられている場合は連結できない場合があります。

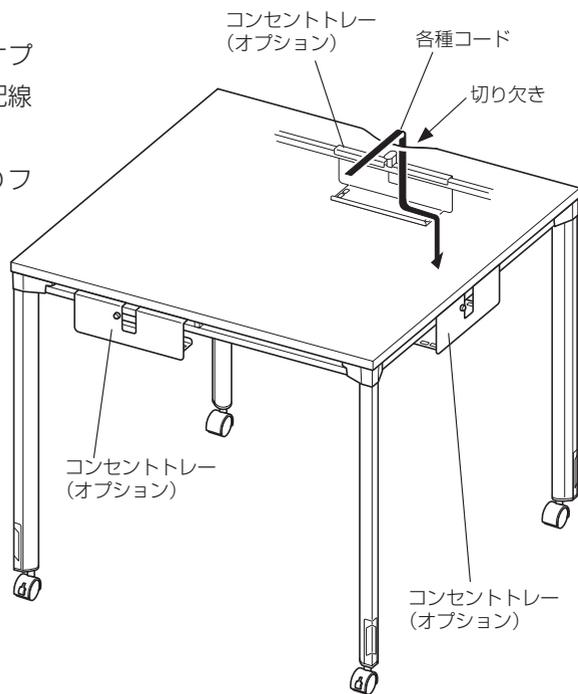


3. 使いかた

4 配線のしかた

各種コードは、コンセントトレイ(オプション)を使って、例えば図のように配線することができます。

※コンセントトレイはいずれのフレームにも取り付けできます。

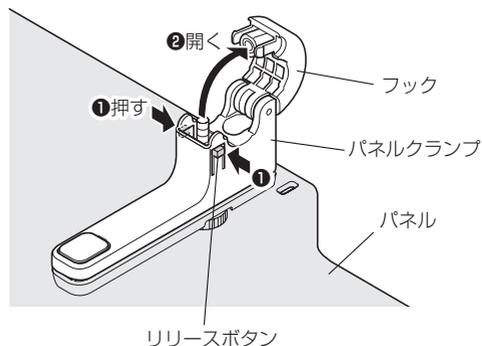


5 パネル(オプション)の 取り付けかた・外しかた

<取り付けかた>

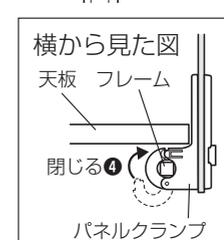
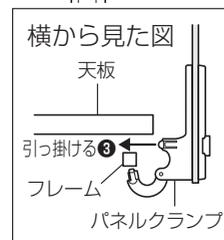
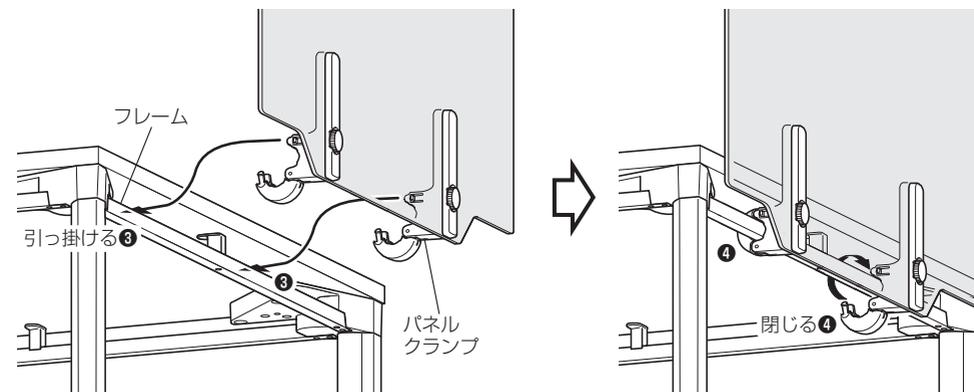
1.作業を始める前に、パネルを傷つけないように緩衝材などを敷いてから、パネルを置いてください。

2.パネルクランプのリリースボタンを押してパネルクランプから「カチッ」と止まるまでフックを開いてください。



3.図のように、天板下のフレームにパネルクランプを引っ掛けて、フックをパネルクランプに「カチッ」と音が出るまで差し込んで閉じてください。

※小物トレイやコンセントトレイが付いている場合はいったん取り外すか、もしくはずらしてパネルやパネルクランプとトレイ類が当たらないようにしてから取り付けてください。



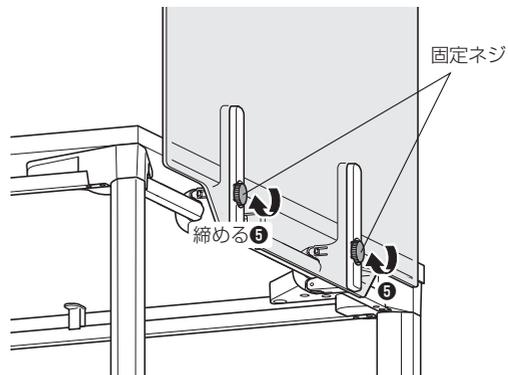
3. 使いかた

4. パネルを倒れないように保持しながら、パネルクランプの固定ネジを締めてパネルクランプをフレームに固定してください。

⚠注意

パネルは反転します。途中で手を離さないでください。

パネルが倒れて手や指がはさまったり、頭をぶつけてけがをする原因になります。



〈取り外しかた〉

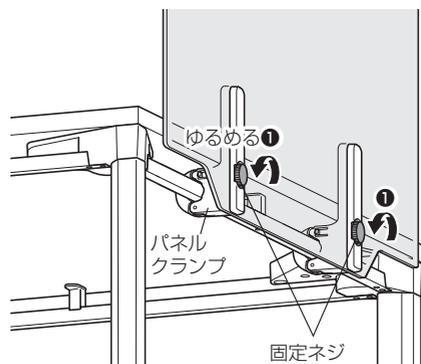
※図はパネルがデスクトップパネルの場合からの取り外しかたです。幕板の場合も向きは異なりますが要領は同じです。

1. パネルを倒れないように保持しながら、パネルクランプの固定ネジを完全に緩めてください。

⚠注意

パネルは反転します。途中で手を離さないでください。

パネルが倒れて手や指がはさまったり、頭をぶつけてけがをする原因になります。

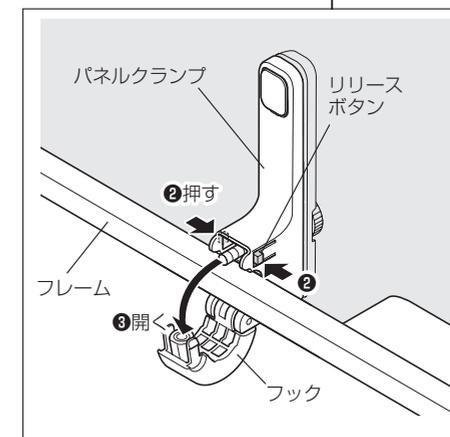
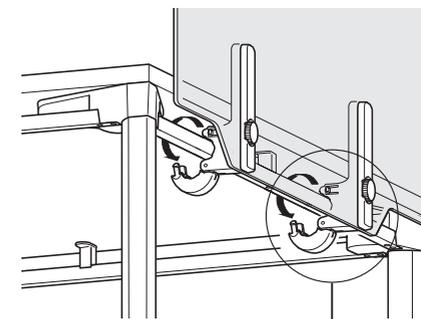


2. 図のように、パネルクランプのリリースボタンを押してパネルクランプからフックを「カチッ」と止まるまで開いてください。

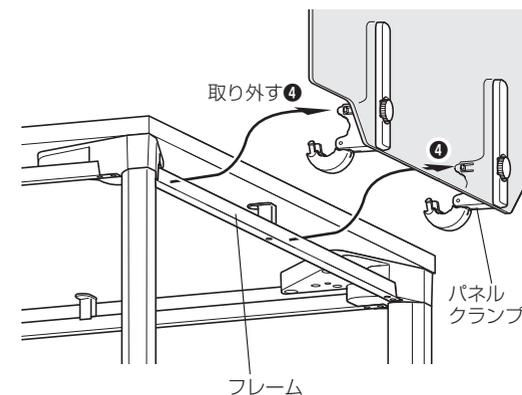
⚠注意

パネルは反転します。途中で手を離さないでください。

パネルが倒れて手や指がはさまったり、頭をぶつけてけがをする原因になります。



3. フレームからパネルを取り外してください。



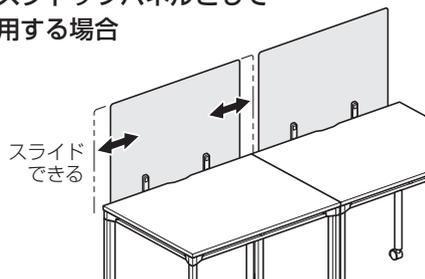
⑥ パネル(オプション)の使いかた

① デスクトップパネルとして使用する場合

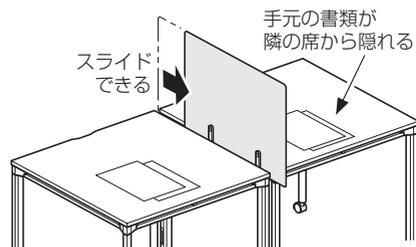
パネルを立てるとデスクトップパネルとして使用できます。

デスクトップパネルとして使用する場合、左右にずらすことができます。また隣の席との衝突にもなり、手元の書類が隠れ、個人情報を扱う際のプライバシーの保護にもなります。

デスクトップパネルとして使用する場合



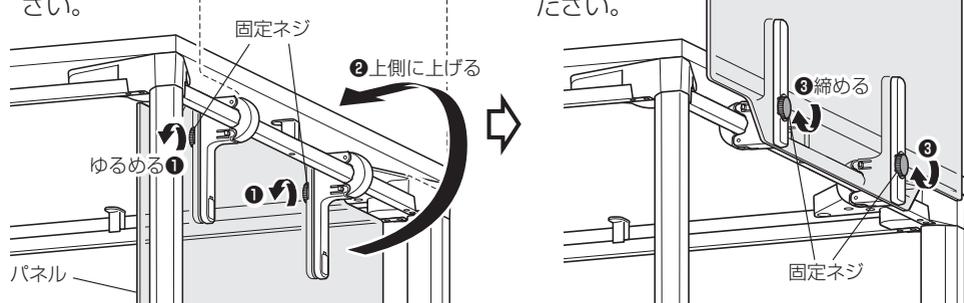
机上の仕切りとして使用する場合



※W600用は約120mm、W800・W1200用は約140mmずらすことができます。

〈幕板からデスクトップパネルへのセッティングのしかた〉

1. パネルクランプの固定ネジをゆるめてパネルを反転させて上側に上げてください。
2. 「1」でゆるめた固定ネジを締めて、パネルを天板と垂直になるように固定してください。



※パネルクランプは、W600用・W800用の場合は2個、W1200用の場合は3個です。
 ※小物トレイやコンセントトレイが付いている場合はいったん取り外すか、もしくははずしてパネルやパネルクランプとトレイ類が当たらないようにしてから取り付けてください。

△注意

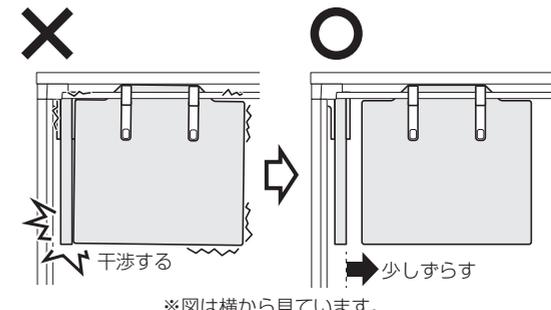
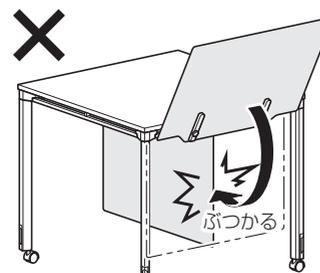
- 可動部に指を入れしないでください。けがをする原因になります。
- パネルの反転は、途中で手を離さずゆっくり行ってください。破損やけがの原因になります。

② 幕板として使用する場合

パネルを下に向けると幕板になります。

〈幕板として使用する場合のご注意〉

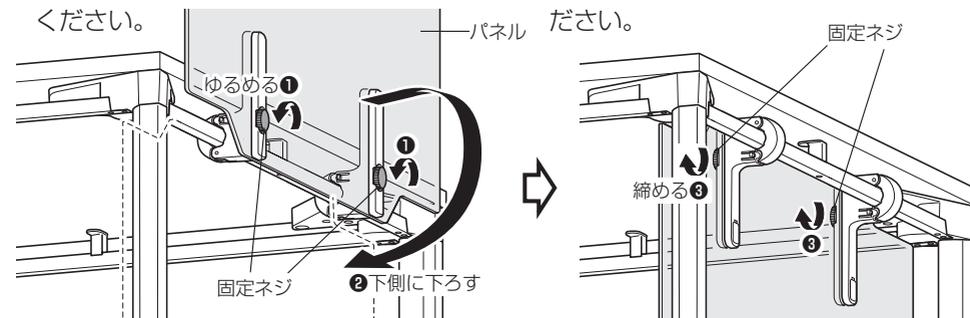
- 正方形タイプで天板裏の中央にパネルを取り付けている場合、そのパネルに直行するパネルは下向きに回転できません。
- 直行するパネルは、パネルどうしが干渉するので、どちらかのパネルを少しずらしてください。



※図は横から見えています。

〈デスクトップパネルから幕板へのセッティングのしかた〉

1. パネルクランプの固定ネジをゆるめてパネルを反転させ下側に下ろしてください。
2. 「1」でゆるめた固定ネジを締めて、パネルを天板と垂直になるように固定してください。



※パネルクランプは、W600用・W800用の場合は2個、W1200用の場合は3個です。
 ※小物トレイやコンセントトレイが付いている場合はいったん取り外すか、もしくははずしてパネルやパネルクランプとトレイ類が当たらないようにしてから取り付けてください。

△注意

- 可動部に指を入れしないでください。けがをする原因になります。
- パネルの反転は、途中で手を離さずゆっくり行ってください。破損やけがの原因になります。

3. 使いかた

◎対面して座る際の足元の仕切りとして使用する場合 〈正方形タイプのみ〉

パネルを天板裏のフックに引っ掛けると足元の仕切りになります。

また、取り外したパネルの収納にもなります。

⚠注意

- パネルを蹴ったり、揺らしたりなどの衝撃を与えないでください。
脱落による破損の原因になります。
- フックにはパネル以外のものを引っ掛けないでください。
破損の原因になります。

〈セッティングのしかた〉

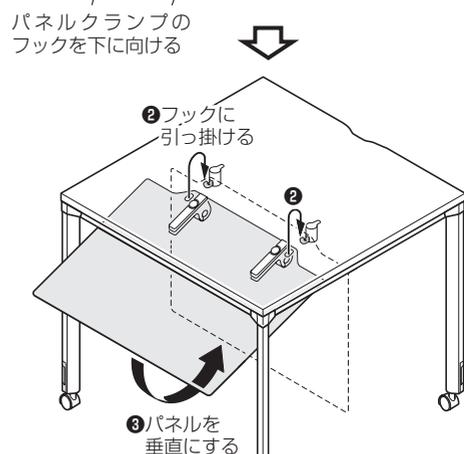
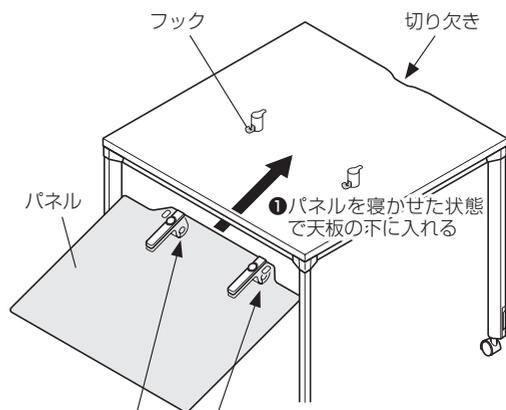
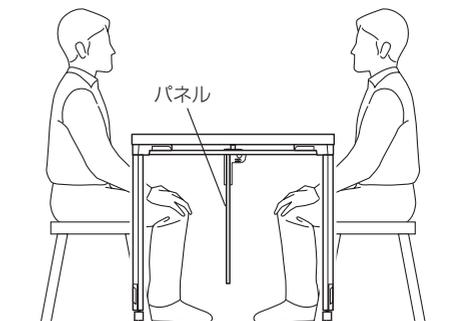
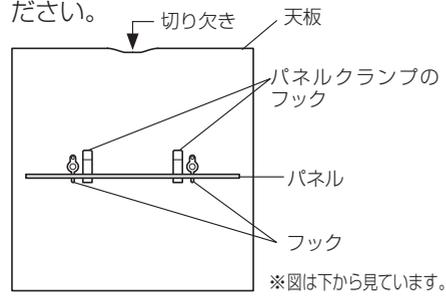
1. ⑦ページ「⑤パネル(オプション)の取り付けかた・外しかた」を参照して、パネルをフレームから取り外してください。
2. 図のように、パネルを天板裏のフックに引っ掛けてください。

〈ご注意〉

- パネルランプのフックは閉じた状態にしてください。

パネルの取付向き

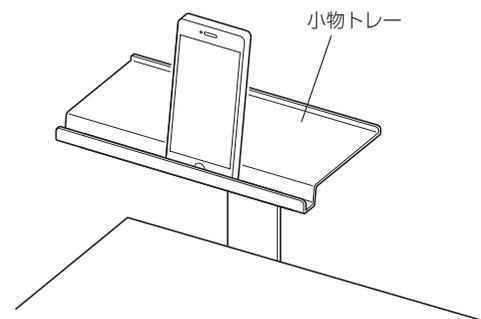
パネルランプのフックが、天板の切り欠き側に向くようにして引っ掛けてください。



⑦小物トレイ(オプション)の使いかた

小物トレイの手前の溝には、厚さ10mmまでのスマートフォンを立て掛けることができます。また、奥のトレイ部には文房具やコンセントなど、小物を置くことができます。

※取り付けかたは、⑩ページ「⑦小物トレイ(オプション)の取り付けかた」をご覧ください。



⚠注意

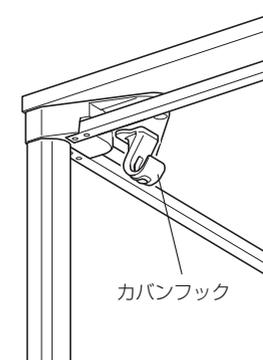
小物トレイの耐荷重は9.8N(約1kgf)です。耐荷重を超えて、ものを置かないでください。変形・破損し、ものが落下してけがや破損の原因になります。

⑧カバンフックSNA-TH10(オプション)の使いかた

※取り付けかたは、⑩ページ「⑧カバンフック(オプション)の取り付けかた」をご覧ください。

⚠注意

カバンフックの耐荷重は49N(約5kgf)です。耐荷重を超えて、ものを引っ掛けないでください。カバンフックが変形・破損し、ものが落下してけがや破損の原因になります。



4.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。
- 連結マグネット部に、ほこりやごみなどの異物などが溜まってきた場合は、綿棒などを使って取り除いてください。

汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■ 消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf



5.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

⚠️注意

お客様での交換作業はしないでください。
製品の故障・破損の原因になります。

6.仕様

テーブル

天板タイプ		標準タイプ			ハイグレードタイプ		
品番：TML-		KK0806CM	KS0808CM	KK1206CM	KK0806CH	KS0808CH	KK1206CH
外寸法 (mm)	幅	800	800	1200	800	800	1200
	奥行	600	800	600	600	800	600
	高さ	720	720	720	720	720	720
質量(kg)		14.1	16.6	19.3	14.8	17.5	20.1
素 材	天板	メラミン化粧板			メラミン化粧板(ハイグレード)		
	エッジ	ABS押出し材			ABS押出し材(ハイグレード)		
	芯材	パーティクルボード					
	脚ベース	アルミダイカスト、焼付塗装					
	脚支柱	アルミ押出し材、焼付塗装、POM					
	連結マグネット	ネオジム磁石					
	キャスター	ナイロン(ストッパーあり×2、ストッパーなし×2)					
フレーム	スチール角パイプ、焼付塗装						
耐荷重	天板	490N(約50kgf)					

6.仕様

パネル

タイプ	W600用	W800用	W1200用
品番: TMLV-	K064P	K084P	K124P
外寸法(mm)	幅500×高さ528	幅700×高さ528	幅1100×高さ528
素材	ポリカーボネート 厚さ3mm		
	ABS(ガラス繊維入り)		

コンセントトレイ TMLU-B2S

外寸法(mm)	幅240×奥行き68×高さ83
有効寸法(mm)	幅200×奥行き65×高さ63(天板裏面まで高さ100)
素材	スチール、焼付塗装
耐荷重	9.8N(約1kgf)

小物トレイ TMLA-SK1

外寸法(mm)	幅200×奥行き102×高さ205
有効寸法(mm)	幅200×奥行き100×机上高さ120
素材	スチール、焼付塗装
耐荷重	9.8N(約1kgf)

△注意

耐荷重(上表の数値)を超えて、ものを置かないでください。

- 故障や変形の原因になります。
- 落下によるけがや破損の原因になります。

7.組み立てかた

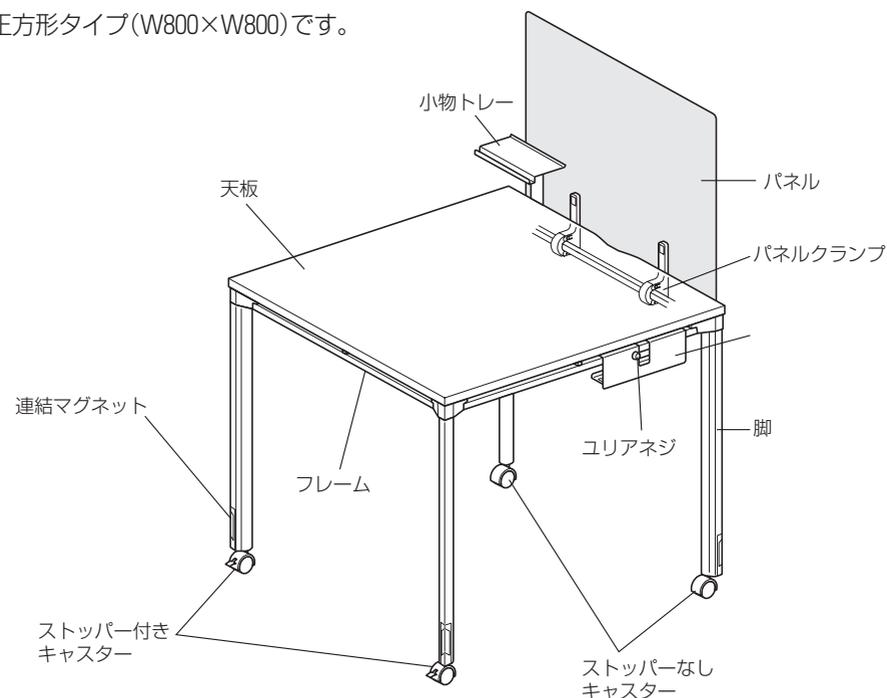
△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。

この組立説明は、正方形タイプ(W800×W800)で行っています。その他のタイプは異なる箇所のみ説明しています。

1 完成図

図は、正方形タイプ(W800×W800)です。



2 使用工具

組み立てる前に、使用工具を確認してください。

工具の種類
L型六角レンチ(対辺4mm)
L型六角レンチ(対辺5mm) ※カバンフックの取り付けのみ

7.組み立てかた

③ 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

テーブル 長方形タイプ (W800×D600)

梱包品番	部品の種類		個数
TMLT-K0806 □	天板	天板	1
TMLF-K0806C	脚・フレームセット	脚(ストッパーあり)	2
		脚(ストッパーなし)	2
		フレーム(□16)506mm 穴2カ所	2
		フレーム(□16)706mm 穴3カ所	2
		スペーサー	2
		六角穴付平頭ボルトM6×50(黒色)	18
		六角穴付ボタンボルトM6×16(平座金、バネ座金付、白色)	8

テーブル 正方形タイプ (W800×W800)

梱包品番	部品の種類		個数
TMLT-S0808 □	天板	天板	1
TMLF-K0808C	脚・フレームセット	脚(ストッパーあり)	2
		脚(ストッパーなし)	2
		フレーム(□16)706mm 穴3カ所	4
		スペーサー	4
		パネルフック	2
		六角穴付平頭ボルトM6×50(黒色)	20
		六角穴付ボタンボルトM6×16(平座金、バネ座金付、白色)	10

テーブル 長方形タイプ (W1200×D600)

梱包品番	部品の種類		個数
TMLT-K1206 □	天板	天板	1
TMLF-K1206C	脚・フレームセット	脚(ストッパーあり)	2
		脚(ストッパーなし)	2
		フレーム(□16)506mm 穴2カ所	2
		フレーム(□16)1106mm 穴4カ所	2
		補強フレーム(□25)1036mm 穴4カ所	1
		穴ふさぎ	4
		スペーサー	4
		六角穴付平頭ボルトM6×50(黒色)	20
		六角穴付ボタンボルトM6×16(平座金、バネ座金付、白色)	12

パネル (オプション)

梱包品番	タイプ		W600用	W800用	W1200用
	部品の種類				
TMLVP-K □□□P	パネル	パネル本体	1	1	1
TMLVA-CI	パネルクランプ	当て板(固定ネジ付き)	2	2	3
		クランプ本体	2	2	3
		キャップ	2	2	3
		六角穴付ボタンボルトM6×8	4	4	6

コンセントトレー (オプション)

品番	部品の種類	個数
TMLU-B25	コンセントトレー本体	1
	コリアネジM3×8(黒色)	1

小物トレー (オプション)

品番	部品の種類	個数
TMLA-SK1	小物トレー本体	1
	小物トレー固定金具	1
	小物トレー固定ボルトM6×30	1

7.組み立てかた

4. テーブルの組み立て

1.天板を裏返しに置いてください。

※このとき、天板を傷つけないように、天板の下に梱包材などを敷いてください。

2.天板の取付穴に合わせて脚を天板の上に配置して、ボルトで仮締めしてください。

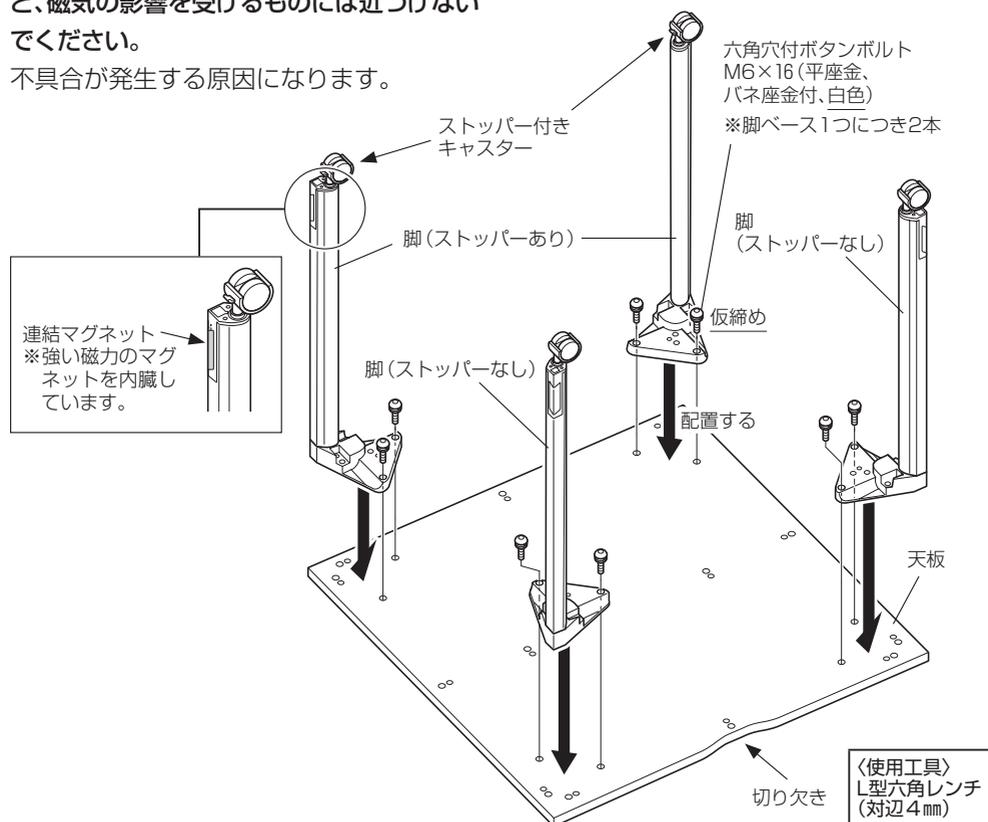
〈ご注意〉

ストッパー付きキャスターが図の位置になるようになるように配置してください。

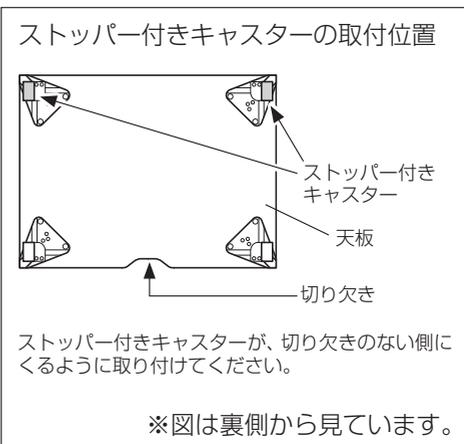
△注意

連結マグネット部には、パソコンなどの電子機器・電子医療機器・時計・磁気テープなど、磁気の影響を受けるものには近づけないでください。

不具合が発生する原因になります。



21

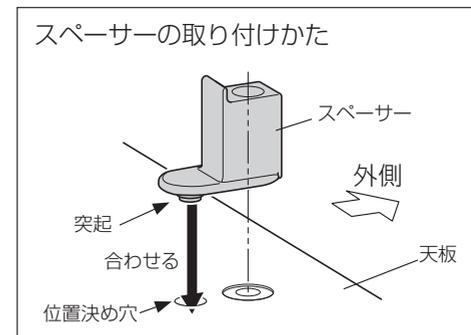


3.スペーサーの突起を天板の位置決め穴に合わせて天板に置いてください。

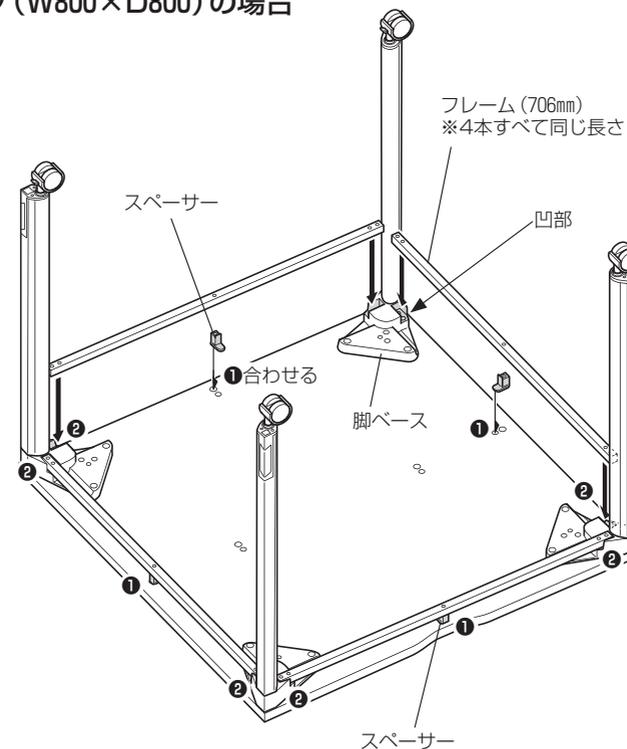
テーブルの種類	スペーサーの数
W800×D600	2
W800×D800	4
W1200×D600	4

4.フレームを脚ベースの凹部に差し込んでください。

※フレームに表裏の向きはありません。



正方形タイプ (W800×D800) の場合



22

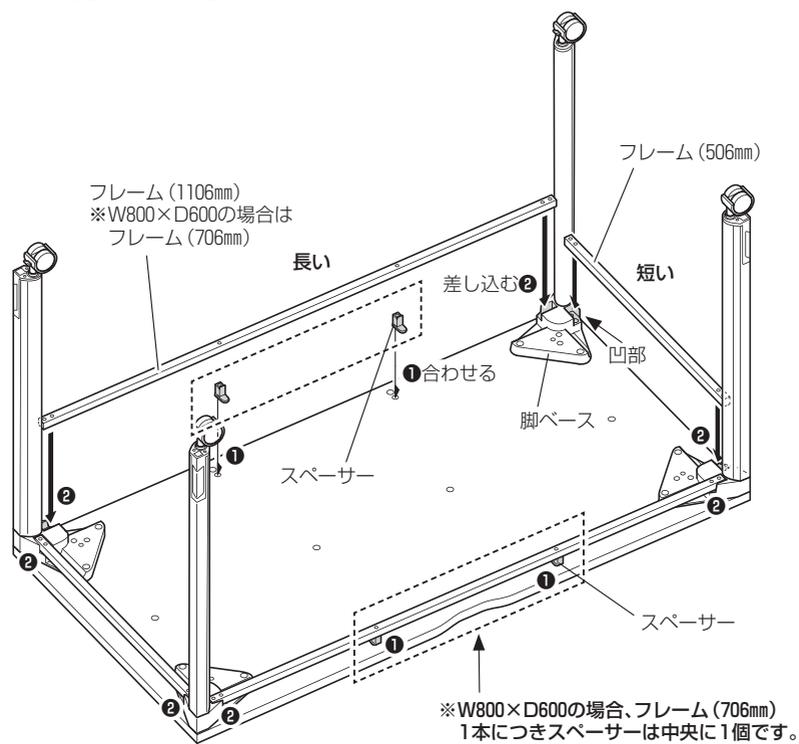
7.組み立てかた

長方形タイプの場合

※図は長方形タイプ (W1200×D600) です。

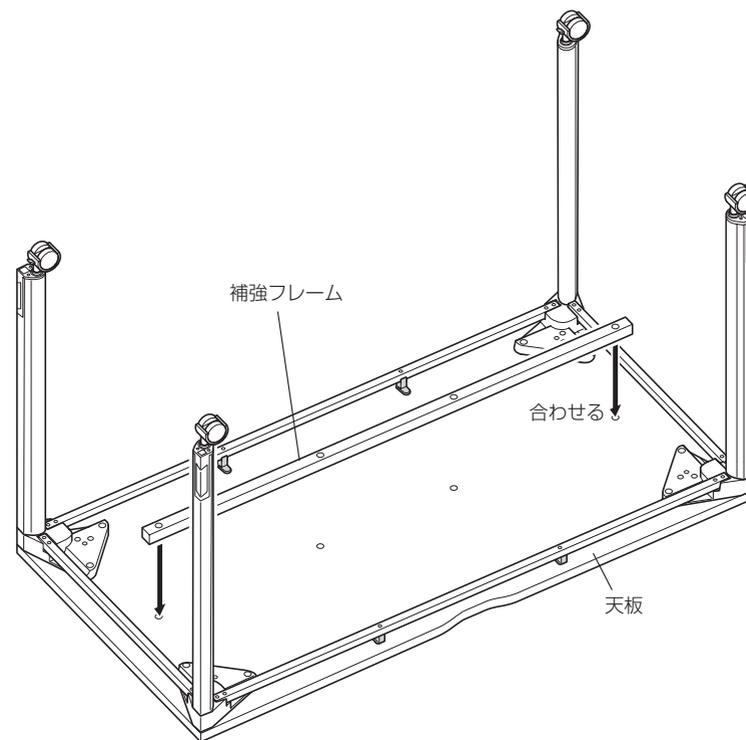
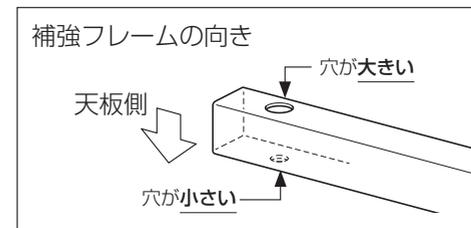
〈ご注意〉

- フレームは、図のように天板の長手方向に長い方のフレームを差し込んでください。
- 長方形タイプ (W1200×D600) タイプのみ、フレームが3種あります。太い(25□)フレームは補強フレームです。



5.長方形タイプ (W1200×D600) のみ

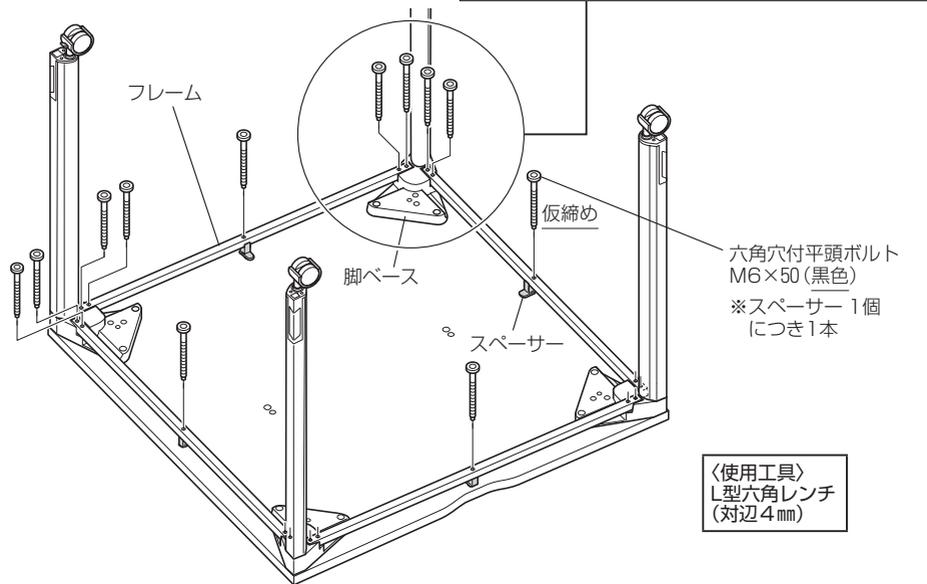
天板裏の取付穴に合わせて補強フレームを天板に置いてください。



7.組み立てかた

6.脚ベースとフレームを天板にボルトで仮締めしてください。

正方形タイプ (W800×W800) の場合

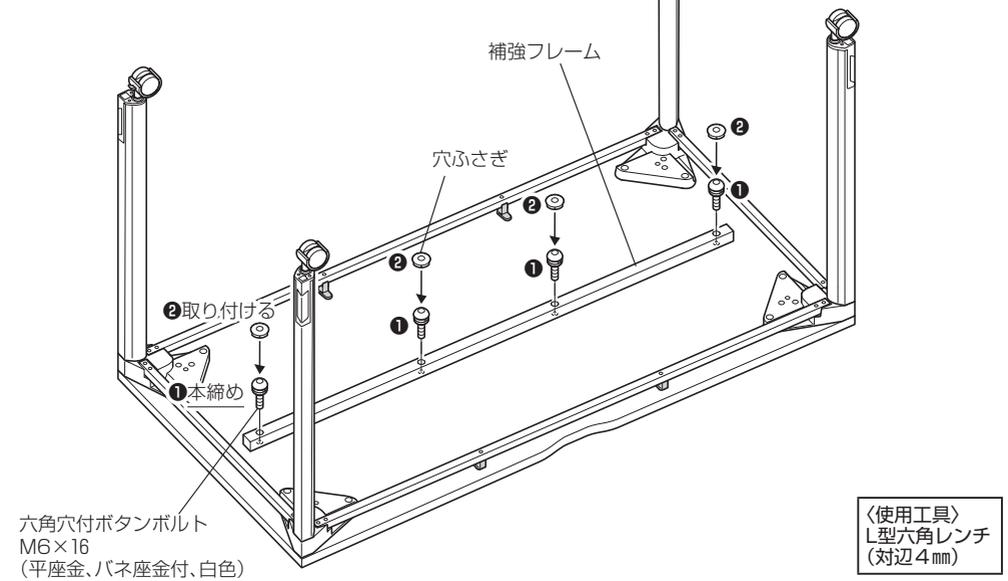


7.長方形タイプ (W1200×D600) のみ

補強フレームをボルト本締めして、穴ふさぎを取り付けてください。

〈ご注意〉

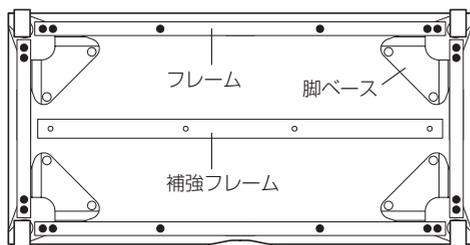
ボルトを補強フレームの中に落とさないように注意してください。



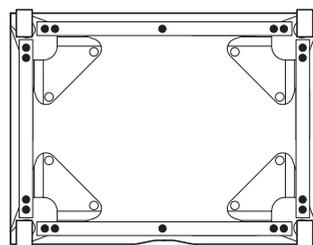
天板のボルト取付位置

●…六角穴付平頭ボルトM6×50 (黒色)

長方形タイプ (W1200×D600) の場合



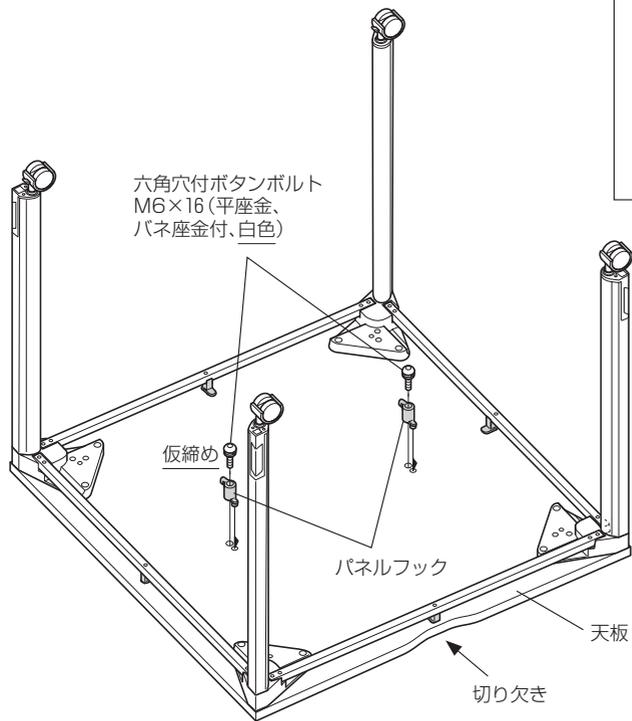
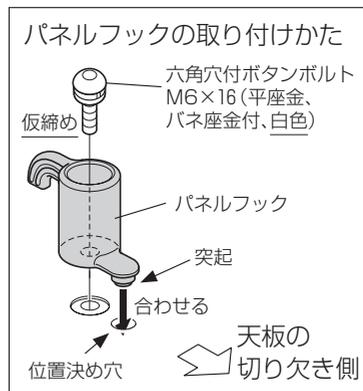
長方形タイプ (W800×D600) の場合



7.組み立てかた

8.正方形タイプ (W800×W800) のみ

パネルフックの突起を天板の位置決め穴に合わせてボルトで仮締めしてください。



〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺4mm)

9.すべてのボルトを本締めして、テーブルを起こしてください。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

5.パネル(オプション)の組み立て

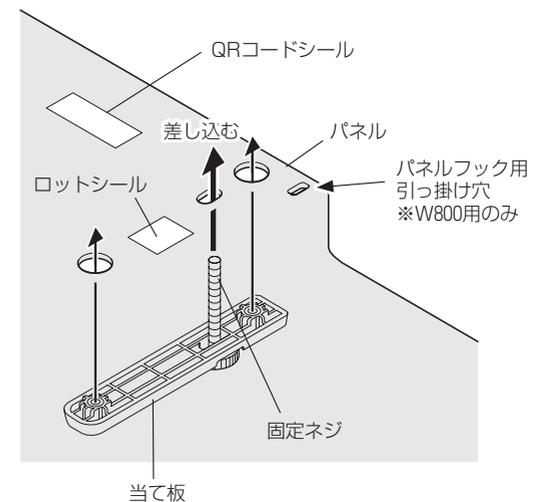
1.パネルの保護シートを、両面ともはがしてください。

※パネルは傷つけないように緩衝材などを敷いてから置いてください。

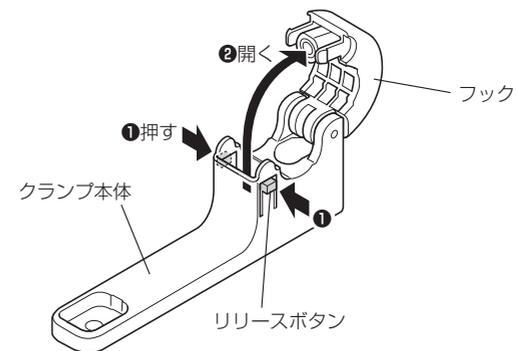
2.パネルに当て板の固定ネジを差し込んでください。

〈ご注意〉

固定ネジはシールを貼っていない面から差し込んでください。

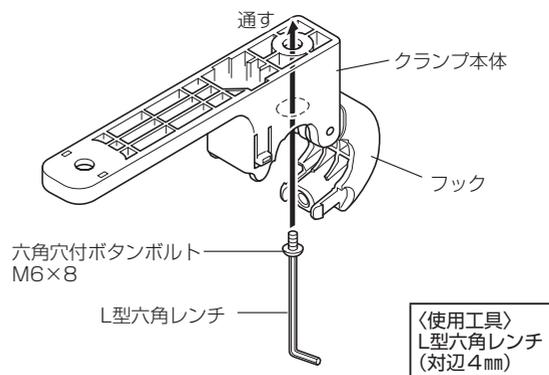


3.クランプ本体のリリースボタンを押してパネルクランプから「カチッ」と止まるまでフックを開いてください。

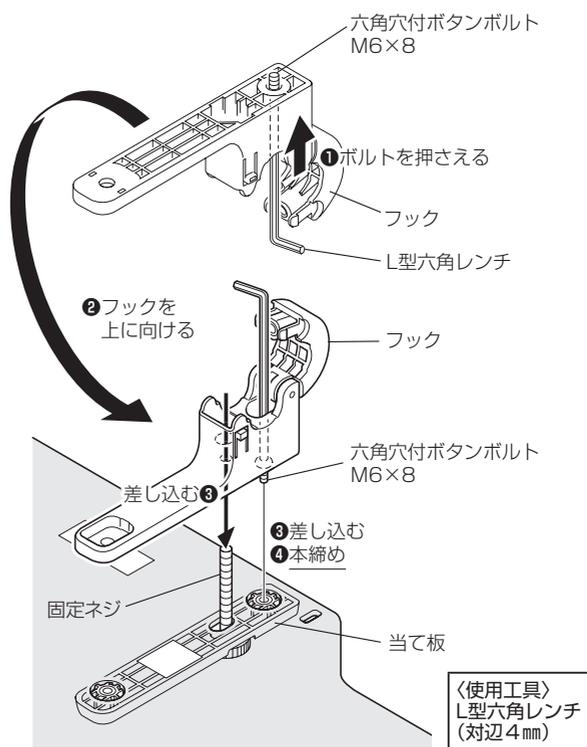


7.組み立てかた

4. クランプ本体のフックを下に向け、図のようにボルトをL型六角レンチでクランプ本体に通してください。



5. 「4」で通したボルトがクランプ本体から抜け落ちないように押さえながらクランプ本体のフックを上向きにして、当て板の固定ネジにクランプ本体を差し込み、当て板の取付穴に「4」で通したボルトを差し込んでください。



6. 「4」で通したボルトを本締めしてください。

〈ご注意〉

取り付けるときは、インパクトドライバーなど強力な工具を使用しないでください。必ず、手締めをしてください。

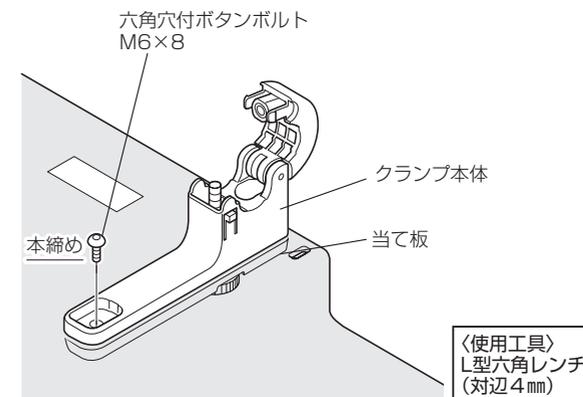
また、ボルトを締めすぎないように注意してください。

7. クランプ本体と当て板をボルトで本締めしてください。

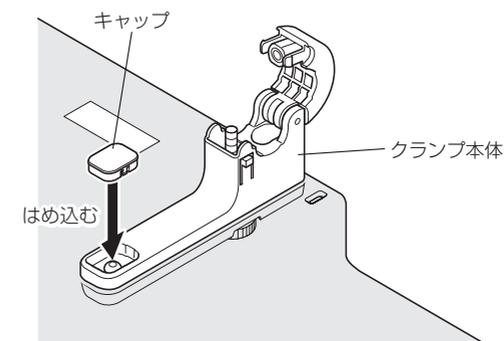
〈ご注意〉

取り付けるときは、インパクトドライバーなど強力な工具を使用しないでください。必ず、手締めをしてください。

また、ボルトを締めすぎないように注意してください。



8. クランプにキャップをはめこんでください。



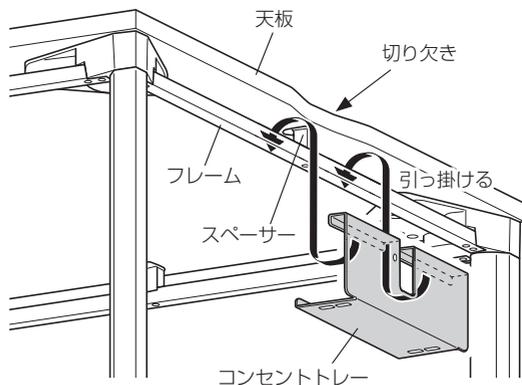
9. 「2」～「8」と同様に、残りのクランプ本体と当て板もパネルに取り付けてください。

※W600用・W800用は2個、W1200用は3個取り付けてください。

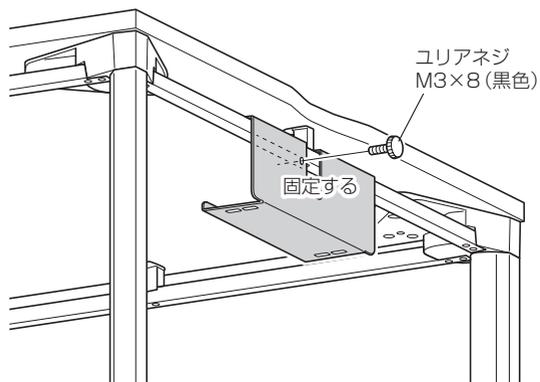
10. ⑦ページ「[5]パネル(オプション)の取り付けかた・外しかた」と同じ要領でパネルをフレームに取り付けてください。

⑥ コンセントトレイ
(オプション)の取り付け

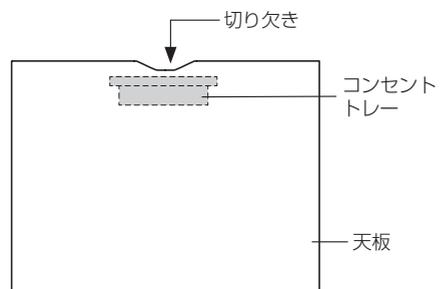
1. フレームに、トレイ本体を引っ掛けてください。



2. ユリアネジでトレイ本体をフレームに固定してください。



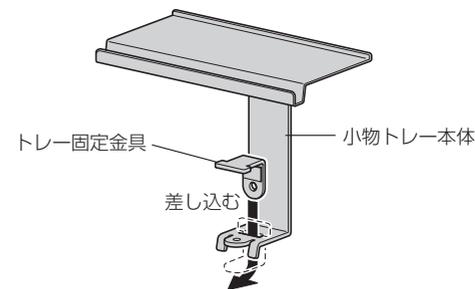
コンセントトレイの取付位置 (推奨)



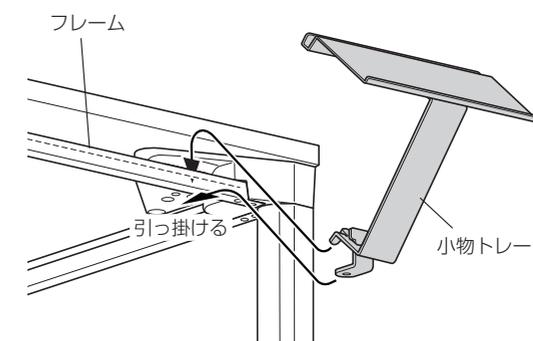
※図は上から見えています。

⑦ 小物トレイ (オプション)の
取り付けかた

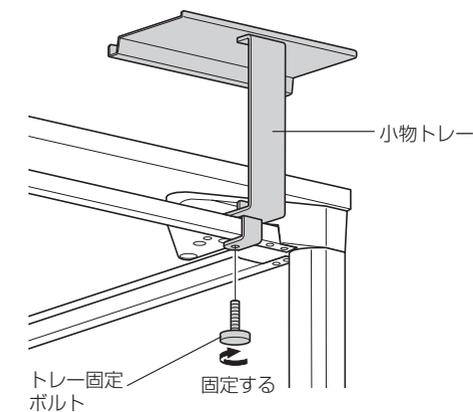
1. 小物トレイ本体にトレイ固定金具を差し込んでください。



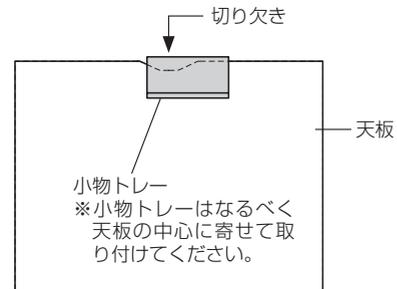
2. 小物トレイをフレームに引っ掛けてください。



3. トレイ固定ボルトで小物トレイをフレームに固定してください。



小物トレイの取付位置 (推奨)

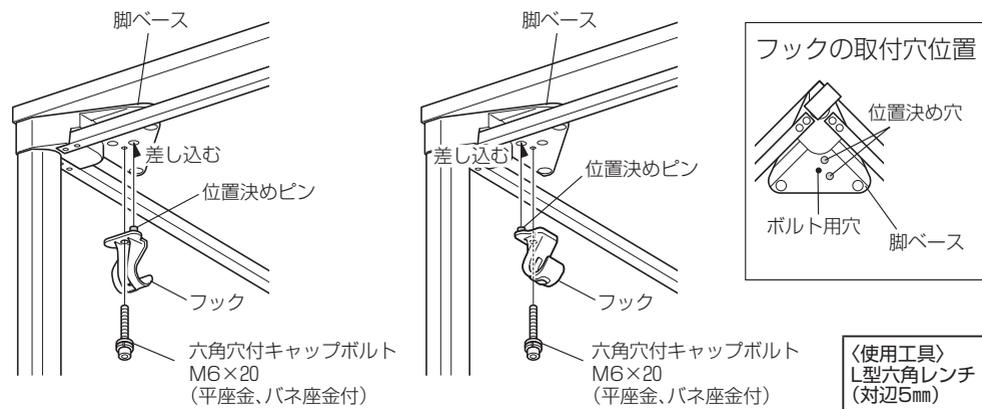


※図は上から見えています。

7.組み立てかた

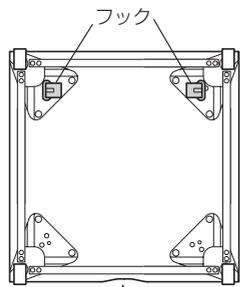
⑧カバンフック (オプション) の取り付けかた

カバンフックは取り付ける向きによって
使用する位置決め穴が異なります。



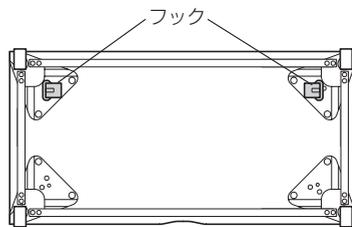
カバンフックの取付位置 (推奨)

正方形タイプ (W800×D800)



切り欠き

長方形タイプ



切り欠き

※図は裏側から見えています。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキが
ないか確認してください。